

水生生物で知る川の健康

川の素顔・命の水

平成26年度
調査

水生生物調査結果 概要

平成27年 3月

国土交通省近畿地方整備局
近畿技術事務所



水生生物調査とは

はじめに



ヒラタドロムシ類

川の中には色々な種類の生き物がたくさん棲んでいます。これらの生き物のことを「水生生物」といいます。

水生生物の中でも、特にトビケラの仲間やサワガニなど川の底に棲んでいる生き物は、その場所の「水のきれいさ」によって種類が違ってきます。



このため、その川に棲んでいる生き物を調べることで、「水のきれいさ」を知ることができます。



ナガレトビケラ類



ヒラタカゲロウ類

水生生物調査とは

調査の意義

- ① この調査は、特別な道具がなくてもできるため、小学生以上であれば、**だれでも簡単に参加**することができます。
- ② みなさんの参加によって**約30年間続いている調査**です。調査の結果を知ることで、その川の水が、**昔に比べてきれいになってきているのか、汚くなってきているのか**を知ることができます。
- ③ 調査に参加することで、**川の生き物や水のきれいさを知るとともに、川に親しみ、川を大切に**するきっかけにもなります。
- ④ 河川を活かした環境教育を推進している活動の一つであり、**環境学習**や**総合的な学習の場**として活用することができます。
- ⑤ みなさんの参加によって得られた結果は、毎年全国データでとりまとめるとともに、近畿では冊子として発行しています。




































2014年度版の冊子

水生生物調査とは

水生生物調査の方法

- ① 事前に、服装・持ち物の**準備**と**安全確認**を十分します。
- ② 川でタモ網などを用いて、**水生生物を採取**します。
- ③ 採取した生き物の中から、そのうち29種類の**指標生物**(「水のきれいさ」の目安となる生き物)を見つけて記録します。
- ④ 指標生物は、種類に応じて「きれい」、「ややきれい」、「きたない」、「とてもきたない」の4つの水質階級に分かれています。

指標生物の出現状況によって、**その地点の川の水のきれいさを知ることが**できます。

 きれいな水	 カワゲラ類	 ナガレトビケラ類	 ヤマトビケラ類	 ヒラタカゲロウ類	 ヘビトンボ	 ブユ類	 アミカ類	 ナミウズムシ	 サワガニ	 ヨコエビ類
 ややきれいな水	 コガタシマトビケラ類	 オオシマトビケラ	 ヒラタドROMシ類	 ゲンジボタル	 コオニヤンマ	 カワニナ類	 ヤマトシジミ	 イシマキガイ		
 きたない水	 ミズムシ	 ミズカマキリ	 シマイシビル	 タニシ類	 イソコツブムシ類	 ニホンドロソコエビ				
 とてもきたない水	 アメリカザリガニ	 ユスリカ類	 チョウバエ類	 エラミミズ	 サカマキガイ					

近畿全体の調査結果

平成26年の調査結果

平成26年調査は、兵庫、京都、滋賀、福井、大阪、奈良、三重、和歌山の7府県の**合計60地点**で実施しました。

調査の結果は以下のとおりでした。

「きれいな水」 … 26地点
「ややきれいな水」 … 30地点
「きたない水」 … 3地点
「とてもきたない水」 … 1地点

川の下流側や都市域で、水がややきたなくなる傾向がみられます。

※なお、九頭竜川では、川の水が増水していて、安全なゆるい流れの場所を調べたため、「きたない水」、「とてもきたない水」という結果となりました。

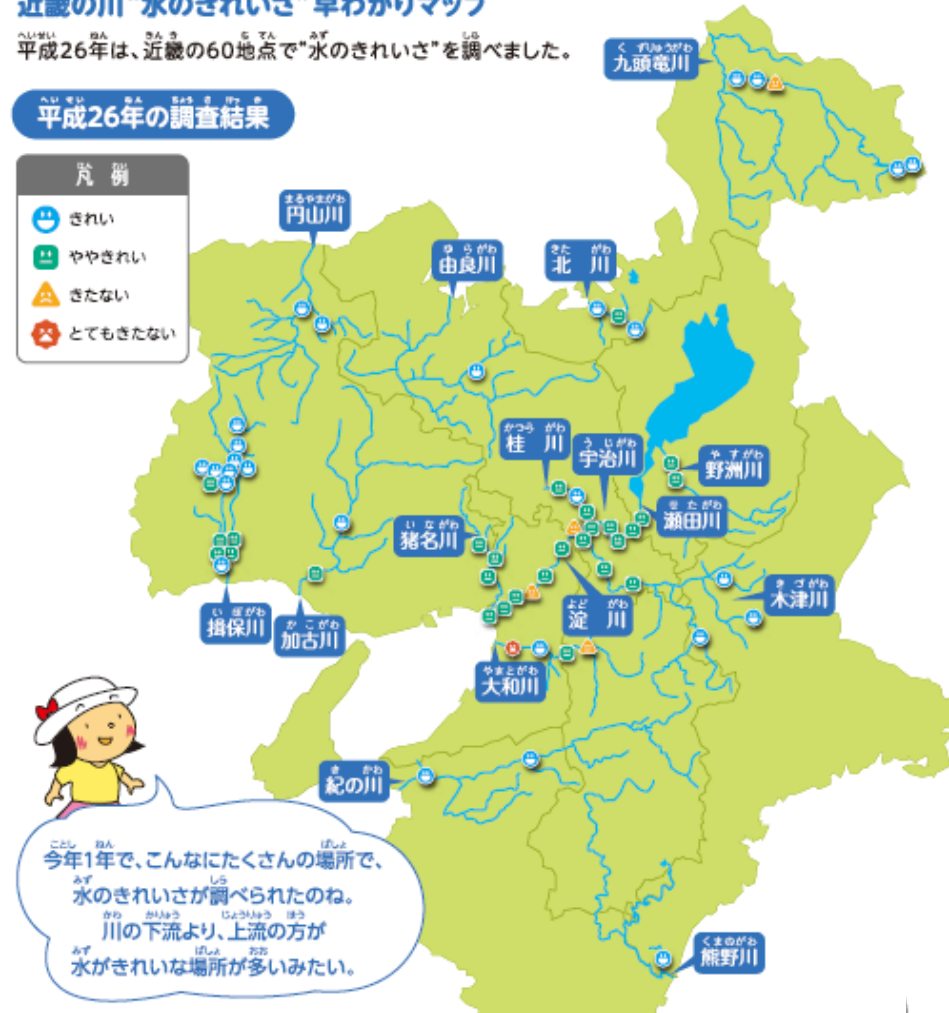
近畿の川“水のきれいさ”早わかりマップ

平成26年は、近畿の60地点で“水のきれいさ”を調べました。

平成26年の調査結果

凡例

- 🌊 きれいな水
- 🌊 ややきれいな水
- 🚫 きたない水
- 🚫 とてもきたない水

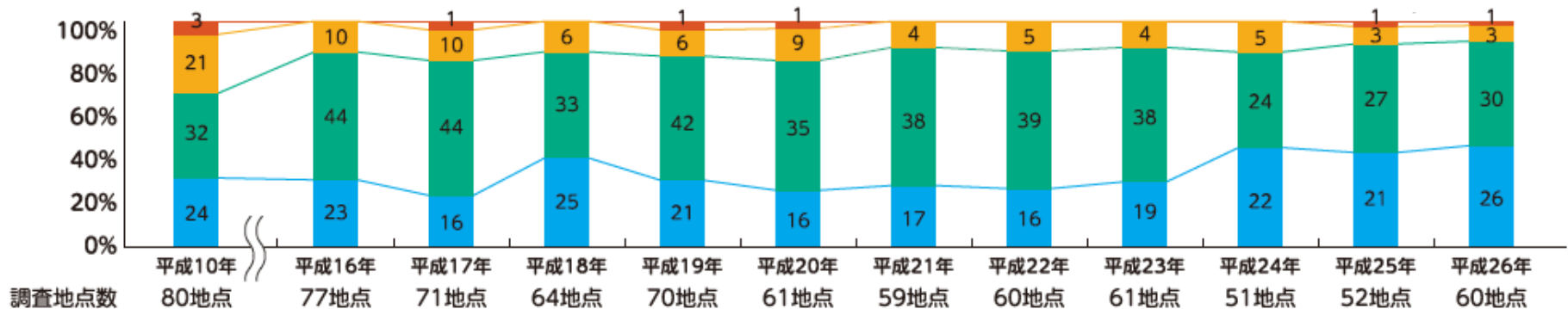


近畿全体の調査結果

水のきれいさの経年変化

平成10年と最近10年間の近畿の川の水の変化をみると、「**きたない水**」の地点の割合が減ってきて、「**きれいな水**」の地点の割合が増えてきています。

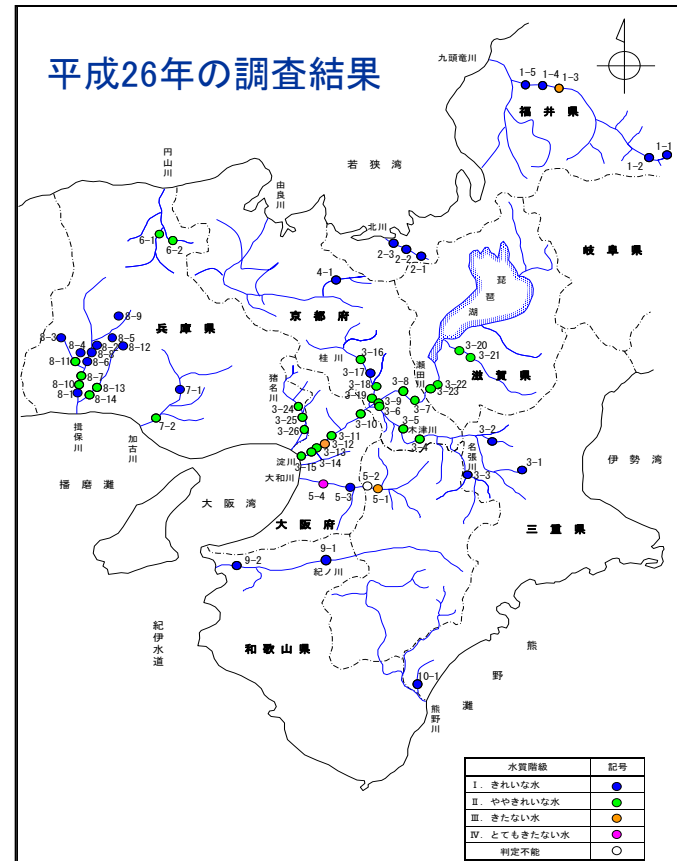
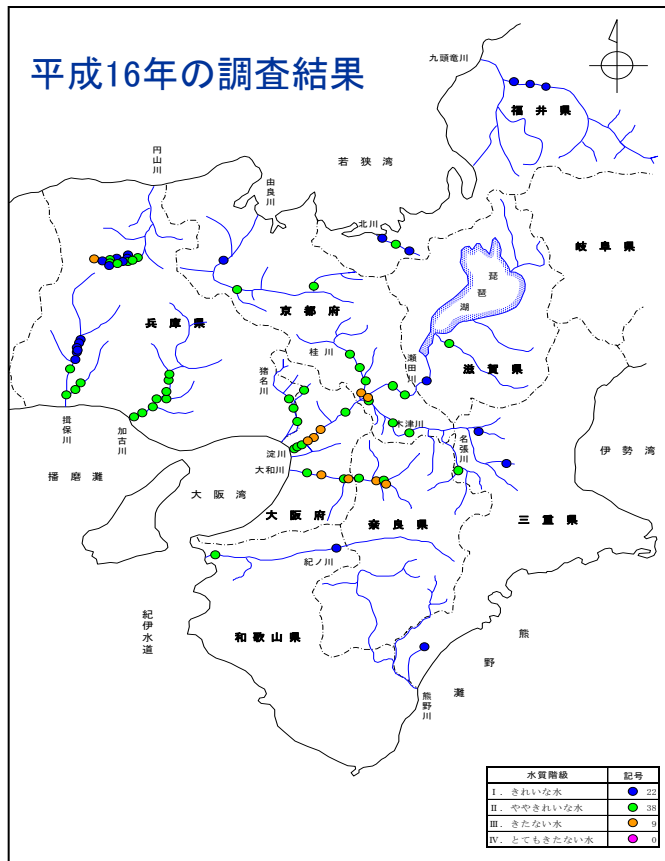
このように、過去からのデータをみることで、昔に比べてきれいになってきているのか、汚くなってきているのかを知ることができ、**みなさんが調査して得られた結果は、将来にわたって活用**されます。



近畿全体の調査結果

水のきれいさの10年前との比較

10年前と比較すると、特に淀川水系で、「きたない水」の地点が減少し、「きれいな水」の地点が増えています。



近畿全体の調査結果

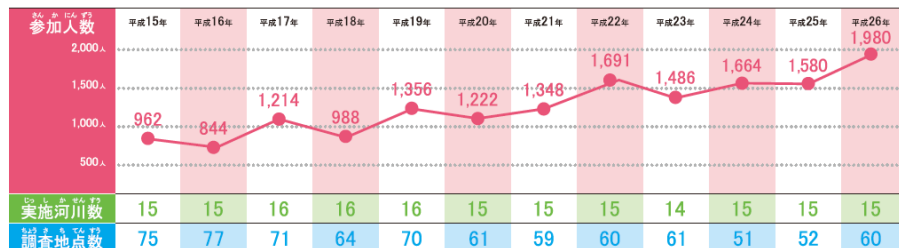
平成26年の参加人数

平成26年調査では、**1,980人**の参加がありました。

小・中学校をはじめ流域住民の参加・協力のもと、**昭和59年度から継続的に調査を実施**しています。

河川環境や水質に関する理解を深める場として定着し親しまれ、いくつかの小・中学校では、**総合学習の場として活用**されています。

これまでの調査地点数と参加人数



※平成17～20年:調査対象に草津川を追加、平成20年:紀の川は天候不良のため中止、平成23年:熊野川は天候不良のため中止

平成26年 調査実施状況

河川名	参加人数	調査した日
熊野川	計8人 (5人×3人)	10/1
紀の川	計66人 (66人)	9/27, 9/29
大和川	計521人 (518人×3人)	5/28, 9/4, 9/18, 10/3, 10/17, 10/20, 10/24
猪名川	計251人 (251人)	7/27
淀川 宇治川	計52人 (38人×14人)	7/25, 8/8
木津川	計187人 (35人×152人)	7/21, 7/29, 8/24
桂川	計43人 (43人)	8/1
瀬田川	計27人 (11人×8人×8人)	8/3, 8/7
野洲川	計29人 (25人×4人)	7/23, 8/5
揖保川	計474人 (406人×68人)	5/30, 7/1, 7/8, 7/9, 7/11, 7/14, 7/15, 7/16, 8/1, 8/2, 9/9, 9/11, 9/18, 9/19
加古川	計167人 (113人×54人)	6/13, 9/13
円山川	計65人 (65人)	9/4, 10/9
由良川	計7人 (7人)	9/11
北川	計17人 (17人)	7/23
九頭竜川	計84人 (8人×16人×60人)	7/30, 8/5

※参加人数は河川ごとに集計しているため、下図の人数とは異なります。

■ 小学校 ■ 中学校 ■ その他の学校 ■ その他

熊野川



熊野川は、雨の多い紀伊半島を流れる大きな川で、和歌山・奈良・三重の3県にまたがって流れています。豊かな自然に恵まれ、川と海を行き来するハゼなどの魚がたくさんいます。

熊野川

平成26年の調査結果

地点数：1地点

参加者数：8人

参加団体：

□ 近畿大学附属新宮高等学校・中学校



1地点で調査が実施され、
結果は「きれいな水」でした

熊野川

指標生物の確認状況

地点名	参加団体番号	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い ^(注) 2種類に●印をつける。)																											集計				判定	今年の判定	昨年の判定				
			I										II							III							IV			I	II	III	IV							
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27								28	29	点数計	点数計
相野谷橋下流	54	10/1	●	●		○	○											○																6	2	0	0	I	I	I

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

確認種

「きれいな水」の指標生物では、カワゲラ類やナガレトビケラ類が多く確認されました。

確認種数

熊野川全体で、「きれいな水」の指標生物 4 種類、「ややきれいな水」の指標生物 2 種類の合計 6 種類が確認されました。

熊野川

調査結果の経年変化

地 点		2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1	新宮川5.0k	※1984～1996年に調査										
2	相野谷橋(※1)	I	I	I	I	I	I	I		I	I	I
3	熊野大橋	※1993～1995年に調査										
4	丸山橋	※1985～1990年に調査										

I きれいな水 **II** ややきれいな水 **III** きたない水 **IV** とてもきたない水

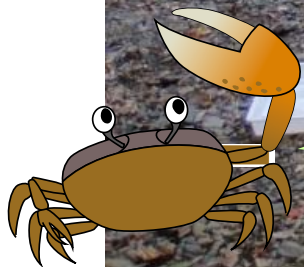
調査地点

これまでに**4地点**で調査が実施されました。
相野谷橋では、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

相野谷橋下流の水のきれいさは、過去10年にわたり「**きれいな水**」の評価が続いています。

紀の川



紀の川は古くから奈良県・和歌山県の人々の歴史と暮らしを支えてきた川です。
また、紀の川河口の干潟は、多くの生き物たちのすみかになっています。

紀の川

平成26年の調査結果

地点数：2地点

参加者数：66人

参加団体：

- 有効東小学校
- 高野口小学校



2地点で調査が実施され、
2地点とも「きれいな水」でした。

紀の川

指標生物の確認状況

地点名	参加団体番号	調査月日	指標生物の出現状況 (見つけた指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																											集計				判定	今年の判定	昨年の判定
			I										II								III							IV		I	II	III	IV			
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27							
カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	フユ類	アマミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドROMシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計	点数の最も高い階級			
九度山橋	52	9/29	●											●																2	2	0	0	I	I	I
出世不動明王	53	9/27	●		○	○			●	○	○	○			○															7	3	0	0	I	I	I

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

確認種

「きれいな水」の指標生物では、カワゲラ類、サワガニが多く確認されました。「ややきれいな水」の指標生物では、コオニヤンマが多く確認されてました。

確認種数

紀の川全体では、「きれいな水」の指標生物 5 種類、「ややきれいな水」の指標生物 4 種類の合計 9 種類が確認された。

紀の川

調査結果の経年変化

地点	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1 大川橋						II					
2 恋野橋	※1984、1985年に調査										
3 橋本橋	※1998年に調査										
4 岸上橋	※1984、1985年に調査										
5 紀伊丹生川合流点	※1994年に調査										
6 三谷橋	※1984～1991年に調査										
7 麻生津大橋	※1984、1985年に調査										
8 龍門橋	※1984、1985、1989～1992年に調査										
9 竹房橋	※1997年に調査										
10 岩出橋	※1984、1985、1988～1992、1991、1992、1995年に調査										
11 諸井橋	※1988、1989、1994年に調査										
12 貴志橋	※1990、1991年に調査										
13 川辺	※1984、1985年に調査										
14 九度山橋	I	II	I	II		II	II	I	I	I	I
15 井阪橋	※1999、2000年に調査										
16 九度山町河根	※2001年に調査										
17 阪合部橋	※2002年に調査										
18 大関橋											
19 観音橋	II										
20 口畑橋		I	I	I							
21 出世不動明王						II	I	I	I	I	I

調査地点

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

これまでに**21地点**で調査が実施されました。
九度山橋、出世不動明王では、継続的に調査が実施されています。

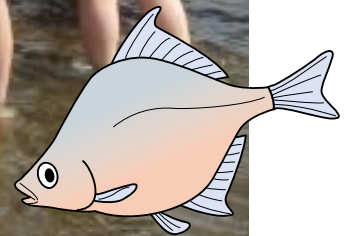
水のきれいさの経年変化

九度山橋、出世不動明王の水のきれいさは、「きれいな水」～「ややきれいな水」となっています。特に最近の4～5年は「きれいな水」の評価が続いています。

淀川・宇治川



淀川・宇治川は、琵琶湖を水源としており、大阪平野を経て大阪湾に注いでいます。淀川には、ワンドと呼ばれる川とつながっているが池のように囲まれた場所があります。ワンドは、水の流れが緩やかでヨシなどの植物が生えているため、魚など多くの生き物のすみかになっています。



淀川・宇治川

平成26年の調査結果

地点数：9地点

参加者数：67人

参加団体：

- 大阪市立新北島中学校
- 高槻市立第七中学校
- 大阪市立城陽中学校
- 大阪市立大桐中学校
- 大阪市立加美中学校
- 大阪市立中野中学校
- 淀川水質汚濁防止連絡協議会
- 一般参加



9地点で調査が実施され、「ややきれいな水」が8地点、「きたない水」が1地点でした。

淀川・宇治川

指標生物の確認状況

地点名	参加団体番号	調査月日	指標生物の出現状況 (見つけた指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定
			I										II						III				IV					I	II	III	IV							
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25					26	27	28	29			
			カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計	点数の最も高い階級		
宇治橋	10, 16, 17, 18	8/8	○									○	●			●																1	5	0	0	II	II	II
隠元橋	直営	9/17		○									●	○		●																0	5	0	0	II	II	II
宇治川御幸橋	直営	9/17											○							○												0	1	1	0	II	II	II
楠葉砂州	8, 9, 10, 11, 12	7/25										○	●	●																		0	5	0	0	II	II	II
鳥飼大橋	直営	9/8	○										○	○		●							○									1	4	1	0	II	II	II
城北	直営	9/6																		○			●									0	0	3	0	III	III	III
柴島水管橋	直営	9/6														●							●									0	2	2	0	II	II	II
淀川大堰下流	直営	9/8																	○	○												0	2	0	0	II	II	II
伝法大橋	直営	9/8	○	○								○	○	○																		2	3	0	0	II	II	II

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

確認種

宇治川では、「ややきれいな水」の指標生物であるオオシマトビケラ、カワニナ類が、淀川では「ややきれいな水」の指標生物であるカワニナ類、オオシマトビケラ、ヒラタドロムシ類、「きたない水」のタニシ類が比較的多くの地点で確認された。また、淀川大堰下流（淀川大堰下流）では、汽水域に生息する指標生物のヤマトシジミ、イシマキガイが確認されました。

確認種数

淀川・宇治川全体では、「きれいな水」の指標生物2種類、「ややきれいな水」の指標生物7種類、「きたない水」の指標生物2種類の合計11種類が確認された。

淀川・宇治川

調査結果の経年変化

地 点	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1 宇治橋	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
2 隠元橋	II							II	II	II	II
3 観月橋	※1986、1987年に調査										
4 宇治川御幸橋	III	II	II	III	III	III	II	II	III	II	II
5 枚方大橋	※2000年に調査										
6 鳥飼大橋	III	III	III	III	II	III	III	III	II	II	II
7 豊里大橋	※1986、1987年に調査										
8 城北ワンド(※1)	III	III	III	III	IV	III	III	III	III	III	III
9 柴島水管橋	III	II	III	III	II	III	III	III	III	II	II
10 淀川大堰	II	II	II	II	III	II	II	II	II	II	II
11 西中島	※1985年に調査										
12 伝法大橋	II	II	II	II	III	II	II	II	II	II	II
13 枚方大橋(磯島)	※1998、2000、2002年に調査										
14 船橋川河口	※2000年に調査										
15 穂谷川合流点	II	II	II	II	III	II	II	II	II	II	
16 十三干潟(※2)	II	II	II	II	II	II	II				
17 向島		II									
18 東高瀬川合流部			II	II	II	II	II				
19 楠葉砂州											II

調査地点

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

これまでに**19地点**で調査が実施されました。
多くの地点で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、**上流**の宇治橋、隠元橋、枚方（穂谷川合流点）や**下流**の淀川大堰下流、伝法大橋では「**ややきれいな水**」が続いています。一方、**中流**の鳥飼大橋、城北、柴島水管橋では、「**きたない水**」の年が多いです。

木津川



木津川は、多くの河川と合流しながら三重県・京都府を流れる川です。
川を堰でせき止めているところでは、そこにある魚道をより魚がのぼりやすくなるように取り組んでいます。



木津川

平成26年の調査結果

地点数：6地点

参加者数：187人

参加団体：

- 高槻市立第七中学校
- 大阪市立城陽中学校
- 大阪市立大桐中学校
- 大阪市立加美中学校
- 木津川市立木津南中学校
- 上野生涯学習推進会議
- 河川レンジャー



6地点で調査が実施され、「きれいな水」が3地点、「ややきれいな水」が3地点でした。

木津川

指標生物の確認状況

地点名	参加団体番号	調査月日	指標生物の出現状況 (見つけた指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定
			I										II								III						IV					I	II	III	IV			
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							
カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アマカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツプムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計	点数の最も高い階級					
稲広橋	6	7/21	○	●		○	○			●				○		○			○		○									7	2	2	0	I	I	I		
新服部橋	6	7/29	○	○		●	●	○																						7	0	0	0	I	I	I		
新町橋	7	8/24	○	○		●					●			○															4	3	0	0	I	I	II			
恭仁大橋	9, 10, 11, 12, 13	7/29		○							●	●	○																1	5	0	0	II	II	II			
玉水橋	直営	9/17									○																		0	1	0	0	II	II	II			
木津川御幸橋	直営	9/17	●							○	●																		2	3	0	0	II	II	I			

確認種

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

「きれいな水」の指標生物であるカワゲラ類、ナガレトビケラ類、ヒラタカゲロウ類が、「ややきれいな水」の指標生物であるコガタシマトビケラ類、オオシマトビケラが比較的多くの地点で確認されました。

確認種数

木津川全体では、指標生物29種類のうち、「きれいな水」の指標生物6種類、「ややきれいな水」の指標生物6種類、「きたない水」の指標生物2種類の合計14種類が確認されました。

木津川

調査結果の経年変化

調査地点

これまでに**35地点**で調査が実施されました。

稲広橋、恭仁大橋、玉水橋、木津川御幸橋、新服部橋、新町橋では、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、**上流域**（稲広橋、新服部橋）は「**きれいな水**」が、**その他の**恭仁大橋、玉水橋、木津川御幸橋は「**ややきれいな水**」が続いています。

地点	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1 中垣内橋	※1987～1988年に調査										
2 稲広橋	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
3 阿保橋	※1987～1997年に調査										
4 古郡 潜水橋	※1988年に調査										
5 比土橋	※1987、1989～1997年に調査										
6 大野木橋	※1984～1997年に調査										
7 芝床橋	※1984～1997年に調査										
8 新長田橋	※1984～1995年に調査										
9 新居橋	※1984～1995年に調査										
10 岩倉橋	※1984～1997年に調査										
11 長瀬	※1989～1995年に調査										
12 新夏見橋(※1)	※1986～1995年に調査							II	II		
13 高橋	※1986～1995年に調査										
14 黒田大橋	※1994、1999、2000、2003年に調査										
15 名張大橋	※1998年に調査										
16 大屋戸潜水橋	※1988年に調査										
17 薦生橋	※1988年に調査										
18 家野	※1986、1987、1989～1995年に調査										
19 笠置橋	※1985～1987、2002年に調査										
20 恭仁大橋	II	II	II	II	II	I	II	II	II	II	II
21 泉大橋	※1986、1987年に調査										
22 泉大橋下流2km	※1985年に調査										
23 玉水橋	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
24 岩田	※1985～1987年に調査										
25 木津川御幸橋	II	IV	II	II	II	II	II	II	III	I	II
26 新服部橋	II	II	I	I	I	I		I	I	I	I
27 木の平橋	※1998年に調査										
28 新町橋	II	II		I				II			I
29 不動川砂防歴史公園											
30 大山田			II	II							
31 壬生野				II							
32 三田				II							
33 糸川橋				II							
34 黒田橋						II					
35 依那古橋							II			II	

I きれいな水

II ややきれいな水

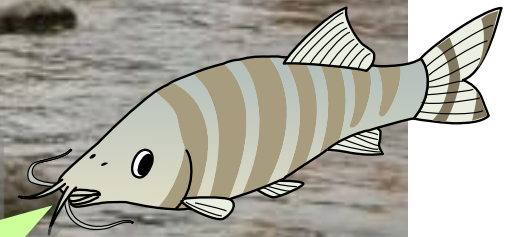
III きたない水

IV とてもきたない水

桂川



桂川は、京都府を流れる川で、宇治川、木津川と合流して、淀川になります。桂川にかかる渡月橋の周辺の観光名所「嵐山」は、桜・紅葉の名所です。



桂川

平成26年の調査結果

地点数：4地点

参加者数：43人

参加団体：

- 大阪市立新北野中学校
- 高槻市立第七中学校
- 大阪市立城陽中学校
- 大阪市立大桐中学校
- 京都市立咲くやこの花中学校
- 京都市立西京極中学校



4地点で調査が実施され、「きれいな水」が1地点、「ややきれいな水」が3地点でした。

桂川

指標生物の確認状況

地点名	参加団体番号	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定									
			I									II									III									IV	I	II	III	IV													
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28					29				点数計	点数計	点数計	点数計					
カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アマカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計	点数の最も高い階級															
渡月橋	8, 9, 10, 11, 14, 15	8/1	○	○		○	○																													4	5	0	1	II	II	II					
西大橋	直営	9/8	○	○								○	○		○																							2	2	0	0	I	I	I			
羽東師橋	直営	9/8										○																											0	1	0	0	II	II	I		
宮前橋	直営	8/31	○									○	○		○										○																1	3	0	1	II	II	III

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

確認種

「きれいな水」の指標生物であるカワゲラ類、ナガレトビケラ類、「ややきれいな水」の指標生物であるオオシマトビケラ、ヒラタドロムシ類が比較的多くの地点で確認されています。

確認種数

桂川全体では、「きれいな水」の指標生物4種類、「ややきれいな水」の指標生物4種類、「とてもきたない水」の指標生物2種類の合計10種類が確認されました。

桂川

調査結果の経年変化

地 点	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1 渡月橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ
2 上野橋	※1985～1987年に調査										
3 西大橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
4 羽束師橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ
5 宮前橋	Ⅲ		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ
6 大山崎		Ⅱ									

Ⅰ きれいな水 Ⅱ ややきれいな水 Ⅲ きたない水 Ⅳ とてもきたない水

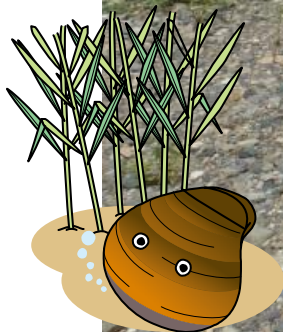
調査地点

これまでに **6 地点** で調査が実施されました。渡月橋、西大橋、羽束師橋、宮前橋など多くの地点で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、過去「**ややきれいな水**」が続いているが、**平成24年（2012年）以降**は「**きれいな水**」の地点がみられています。

瀬田川・野洲川



瀬田川は、琵琶湖から流れる川で、下流にいくと宇治川・淀川へと名前を変えます。野洲川は、琵琶湖に注ぐ最も大きな川です。

瀬田川・野洲川

平成26年の調査結果

地点数：4地点

参加者数：53人

参加団体：

- 立命館守山中学校
- 瀬田北中学校
- 守山南中学校
- 琵琶湖河川レンジャー
- 一般参加



1 瀬田川・大石川合流点
●平成26年8月3日 ●参加人数 19人
一般参加

きれい 2点
1点 1点

ややかきれいな水 3点
2点 1点

とてもきたない 1点
1点

この地点は ややかきれいな水

2 瀬田川・信楽川合流点
●平成26年8月7日
●参加人数 8人
瀬田北中学校

きれい 4点 ややかきれいな水 5点
2点 1点 1点 2点 1点 1点 1点

とてもきたない 2点
1点 1点

この地点は ややかきれいな水

3 落差工上流付近
●平成26年7月23日 ●参加人数 14人
立命館守山中学校

ややかきれいな水 4点 とてもきたない 4点
1点 2点 1点 1点 1点 2点

この地点は ややかきれいな水

4 野洲川大橋下流
●平成26年8月5日 ●参加人数 12人
守山南中学校 琵琶湖河川レンジャー

ややかきれいな水 5点
1点 1点 1点 2点

きたない 1点 とてもきたない 1点
1点 1点

この地点は ややかきれいな水

4地点で調査が実施され、

「ややかきれいな水」が4地点でした。

瀬田川・野洲川

指標生物の確認状況

地点名	参加団体番号	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定
			I										II								III						IV					I	II	III	IV			
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							
カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アマカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドROMシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計	点数の最も高い階級					
落差工上流付近	19	7/23								○	●		○											○			●	○	0	4	0	4	II	II	II			
野洲川大橋下流	20, 21	8/5								○	○	○		●				○									○	0	5	1	1	II	II					
瀬田川・信楽川合流点	22	8/7	●			○			○	●	○			○	○									○			○	4	5	0	2	II	II	I				
瀬田川・大石川合流点	23	8/3				○			○	●				○													○	2	3	0	1	II	II	I				

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

確認種

瀬田川では、「きれいな水」の指標生物であるナミウズムシ、「ややきれいな水」の指標生物であるコガタシマトビケラ類、コオニヤンマが比較的多くの地点で確認されています。

野洲川では、「ややきれいな水」の指標生物であるコガタシマトビケラ類、ヒラタドROMシ類、コオニヤンマ、「とてもきたない水」の指標生物であるサカマキガイが比較的多くの地点で確認されています。

確認種数

瀬田川全体では、「ややきれいな水」の指標生物4種類、「きたない水」の指標生物1種類、「とてもきたない水」の指標生物3種類の合計8種類が確認されました。

野洲川全体では、「きれいな水」の指標生物4種類、「ややきれいな水」の指標生物4種類、「とてもきたない水」の指標生物3種類の合計11種類が確認されました。

瀬田川・野洲川

調査結果の経年変化

瀬田川

地点	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1 石山寺対岸	※1984～1991年に調査										
2 石山小学校前	※1984、1985年に調査										
3 瀬田川洗堰下	※1984～1992年に調査										
4 信楽川・瀬田川合流点	I	II	I	II	I	I	I	II	I	I	II
5 瀬田川・大石川合流点								I	II	I	II

野洲川

地点	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1 野洲川大橋	II	III	II	II	I						II
2 落差工(※1)							II	II	II	II	II
3 名神野洲川橋						II					

調査地点

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

瀬田川では、これまでに**5地点**で調査が実施されました。信楽川・瀬田川合流点で、継続的に調査が実施されています。

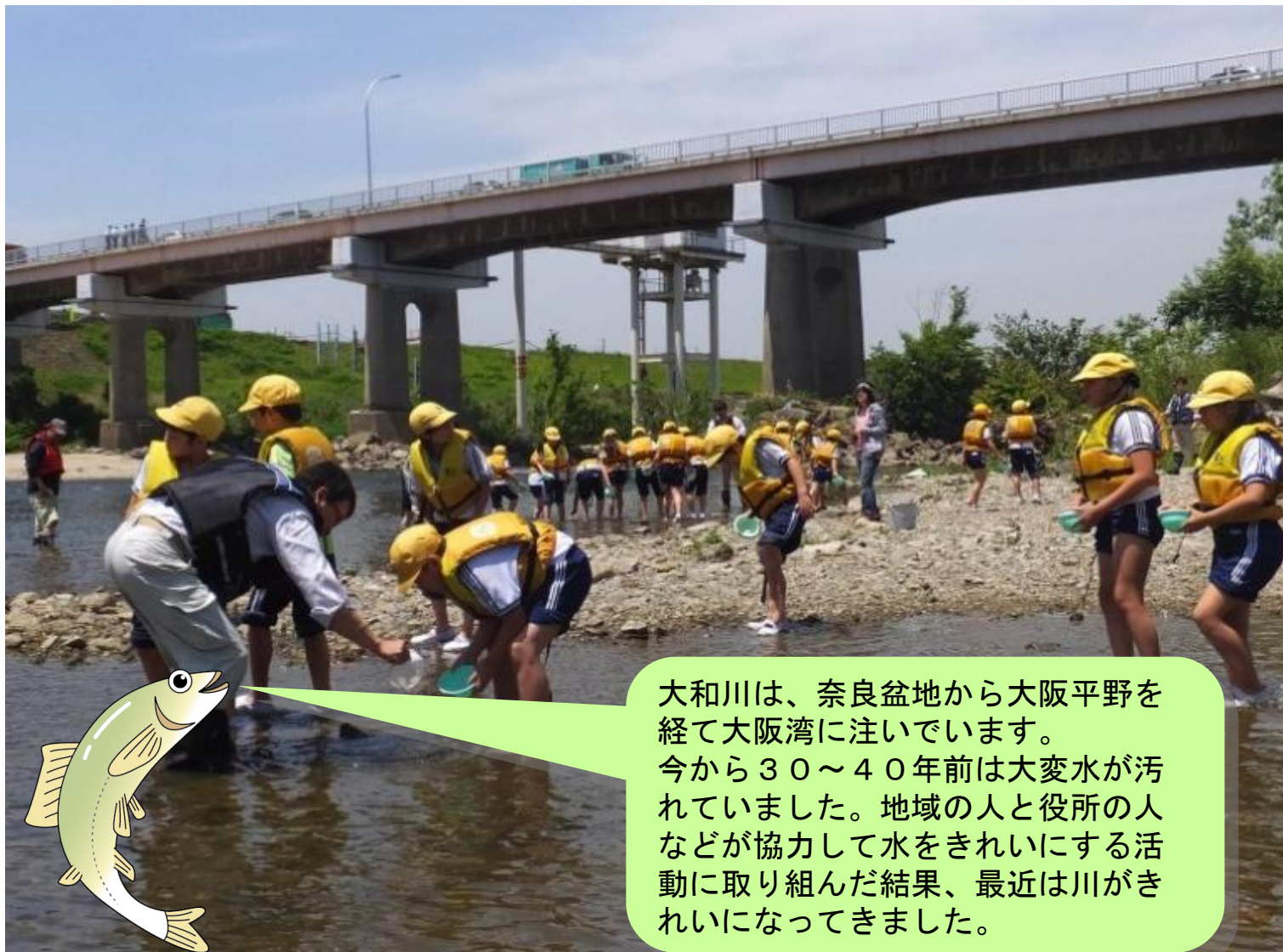
野洲川では、これまでに**3地点**で調査が実施されました。過去は野洲川大橋で、最近は落差工で継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

瀬田川の水のきれいさは、主には「きれいな水」が続いています。

野洲川の水のきれいさは、主には「ややきれいな水」が続いています。

大和川



大和川は、奈良盆地から大阪平野を経て大阪湾に注いでいます。今から30～40年前は大変水が汚れていました。地域の人と役所の人などが協力して水をきれいにする活動に取り組んだ結果、最近は大和川がきれいになってきました。

大和川

平成26年の調査結果

地点数：4地点

参加者数：521人

参加団体：

- 山之内小学校
- 王寺北小学校
- 川西小学校
- 意岐部東小学校
- 新堂小学校
- 旭が丘小学校
- 竹城台東小学校
- 大和川釣り人クラブ



4地点で調査が実施され、「きれいな水」、「ややきれいな水」、「きたない水」、「とてもきたない水」が各1地点でした。

大和川

指標生物の確認状況

地点名	参加団体番号	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定	
			I										II										III								IV	I	II	III	IV				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29								
御幸大橋	28	9/18																	○													0	0	1	0	III	III		
藤井	29	9/4																															0	0	0	0	無	無	無
河内橋	30, 35	5/28																					○						○			3	0	1	1	I	I	II	
河内橋	31, 35	10/3																										○				0	0	0	1	IV			
河内橋	32, 35	10/17																										○				0	0	0	1	IV			
河内橋	33, 35	10/24														○												○				0	1	0	1	II			
浅香	34, 35	10/20																										○				0	0	0	1	IV	IV	無	

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

確認種

「きれいな水」の指標生物であるナミウズムシ、サワガニ、「ややきれいな水」の指標生物であるコオニヤンマ、「きたない水」の指標生物であるミズムシ、タニシ類、「とてもきたない水」の指標生物であるアメリカザリガニが確認されています。

なお、藤井では指標生物が確認されませんでした。但し、指標生物以外の生物が複数確認されましたので、有識者の判断により「ややきれいな水」としています。

確認種数

大和川全体では、「きれいな水」の指標生物2種類、「ややきれいな水」の指標生物1種類、「きたない水」の指標生物2種類、「とてもきたない水」の指標生物1種類の合計6種類が確認されました。

大和川

調査結果の経年変化

地点	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1 上吐田	II	II									
2 太子橋	III	III									
3 御幸大橋	III	III	III	IV	III	II	III	III	III		III
4 藤井	II	III	III	III	III	II	III	II	II	無	無
5 国豊橋	III	III									
6 河内橋	II	III	III	II	III	II	II	II	II	II	I
7 浅香新取水口(※1)	III	III		III	III	II	II	II	無	無	IV
8 遠里小野橋	II	II									

I きれいな水 II ややきれいな水 III きたない水 IV とてもきたない水

調査地点

これまでに8地点で調査が実施されました。

御幸大橋、藤井、河内橋、浅香など多くの地点で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、平成20年(2008年)までは「きたない水」の地点が多かったが、平成21年(2009年)以降では、「ややきれいな水」の地点が多くなっています。

猪名川



猪名川は都市域を流れる川です。
川の水は、生活や工業、農業の
ための水として、たくさんの人の
暮らしを支えています。

猪名川

平成26年の調査結果

地点数：3地点

参加者数：251人

参加団体：

- 2014猪名川の愛護セミナー（こんにやく橋）
- 2014猪名川の愛護セミナー（池田床固下流）
- 2014猪名川の愛護セミナー（桑津橋）



3地点で調査が実施され、
3地点とも「ややきれいな水」でした。

猪名川

指標生物の確認状況

地点名	参加団体番号	調査月日	指標生物の出現状況 (見つけた指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																													集計				判定 点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定
			I										II								III						IV											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	I	II	III	IV			
カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドROMシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	インコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミス	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計	II	II	II			
こんにやく橋	24	7/27	○							○		●	○	○	●					○				○		○	○	○	1	7	1	3	II	II	II			
池田床固下流	25	7/27	○					○		●	●	○		○				○	○			○		○	○	○	○	○	2	6	3	4	II	II	II			
桑津橋	26	7/27	○					○		●	○	●			○					○						○		○	2	6	1	1	II	II	II			

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

確認種

「ややきれいな水」の指標生物であるコガタシマトビケラ類、オオシマトビケラ、ヒラタドROMシ類、カワニナ類、「とてもきたない水」の指標生物であるサカマキガイが比較的多くの地点で確認されました。

確認種数

猪名川全体では、「きれいな水」の指標生物3種類、「ややきれいな水」の指標生物6種類、「きたない水」の指標生物4種類、「とてもきたない水」の指標生物4種類の合計17種類が確認されました。

猪名川

調査結果の経年変化

地 点		2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1	小戸井堰	※1986～2001年に調査										
2	加茂井堰	※1986～2001年に調査										
3	池田床固	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
4	久代北台井堰	※1986～2001年に調査										
5	高木井堰	※1986～2001年に調査										
6	軍行橋	※1986～2001年に調査										
7	三ヶ井井堰	※1986～2001年に調査										
8	桑津橋	II	II	II	II	II		II	II	II	II	II
9	分派点	※1986～2001年に調査										
10	中園橋	※2003年に調査										
11	文珠橋	※2003年に調査										
12	御社橋											
13	吉田橋	※2003年に調査										
14	銀橋上流(※1)	II	II	II	II	II		II	II	II	II	II
15	向所橋	II										
16	上ノ所橋	※2001年に調査										
17	上止々呂美				I							

I きれいな水 II ややきれいな水 III きたない水 IV とてもきたない水

調査地点

これまでに17地点で調査が実施されました。
池田床固、桑津橋、銀橋上流（こんにやく橋）で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、ほぼすべての地点で、継続的に「ややきれいな水」となっています。

加古川



加古川は、丹波山地から瀬戸内海の播磨灘に流れる兵庫県でいちばん大きな川です。
河口には、エドハゼ、ハクセンシオマネキなどの生き物の大切なすみかとなっている干潟や、魚や鳥などのかくれ場所となるヨシ原が見られます。



加古川

平成26年の調査結果

地点数：2地点

参加者数：167人

参加団体：

- 子ども観光大使
- 小野小学校



2地点で調査が実施され、「きれいな水」が1地点、「ややきれいな水」が1地点でした。

加古川

指標生物の確認状況

地点名	参加団体番号	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定
			I										II								III						IV					I	II	III	IV			
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							
大住橋上流	38	6/13	○	○	○	○	○	○	○	○			●	●					○	○	○	○					○	○	○		8	4	4	3	I	I		
加古川大堰下流	39	9/13	○									●	●	○	●	○			○											1	8	1	0	II	II			

確認種

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

「きれいな水」の指標生物であるカワゲラ類、「ややきれいな水」の指標生物であるヒラタドロムシ類、コオニヤンマ、「きたない水」の指標生物であるミズムシが確認されました。

確認種数

加古川全体では、「きれいな水」の指標生物8種類、「ややきれいな水」の指標生物5種類、「きたない水」の指標生物4種類、「とてもきたない水」の指標生物3種類の合計20種類が確認されました。

加古川

調査結果の経年変化

調査地点

これまでに**25地点**で調査が実施されました。
板波橋、大住橋、池尻橋、加古川橋で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、ほぼすべての地点で、継続的に「**ややきれいな水**」となっています。

地点	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1 金水寺橋	※1988年に調査										
2 小南橋	※1988年に調査										
3 長野橋	※1988年に調査										
4 船町橋	※1987、1988年に調査										
5 由緑橋	※1988年に調査										
6 八坂橋	※1988年に調査										
7 板波橋	II	II	II	II	II	II	II	II	I		
8 滝見橋	II	II	I	II	II						
9 大門橋	II	II	II	II	II						
10 古川橋	II	II	II	II	II						
11 東条川合流点下流	※1984年に調査										
12 西脇橋	※1988、1990年に調査										
13 大住橋	II	II	II	II	II	II	II	II			I
14 御坂橋	※1988年に調査										
15 美囊川橋	II	II	II	II	II						
16 池尻橋	II	II	I	II	III	II	II	II		II	
17 加古川橋	II	II	II	II	II	II	II	II			
18 大平橋	※2002年に調査										
19 米田河川敷		II	II	II		II					
20 万歳橋		II									
21 水分れ公園			I								
22 加東市野村～上田							II				
23 加古川堰堤							II				
24 福田橋									II		
25 加古川大堰下流											II

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

揖保川



揖保川は、兵庫県の西部を流れ、瀬戸内海に注いでいます。

昔は水が大変汚れていましたが、地域の人と役所の人たちが協力して水をきれいにする活動に取り組んだ結果、再びアユが棲めるきれいな川になりました。

揖保川

平成26年の調査結果

地点数：14地点

参加者数：474人



参加団体：

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 斑鳩小学校 | <input type="checkbox"/> 西栗栖小学校 |
| <input type="checkbox"/> 誉田小学校 | <input type="checkbox"/> 都多小学校 |
| <input type="checkbox"/> 半田小学校 | <input type="checkbox"/> 神野小学校 |
| <input type="checkbox"/> 龍野小学校 | <input type="checkbox"/> 染河内小学校 |
| <input type="checkbox"/> 小宅小学校子ども会 | <input type="checkbox"/> 神戸小学校 |
| <input type="checkbox"/> 新宮小学校 | <input type="checkbox"/> 下三方小学校 |



14地点で調査が実施され、「きれいな水」が9地点、「ややきれいな水」が5地点でした。

揖保川

指標生物の確認状況

地点名	参加団体番号	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定	
			I									II									III									IV		I	II	III	IV				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29								点数計
水辺の楽校公園	40	5/30	○	●	●						○	○	●			○																	5	5	1	1	I	I	II
染河内橋	41	7/1	○	○	●	○	○			○	○					●																	8	2	0	0	I	I	
相坂橋下流	42	7/8	○	○	○					○	○			○	○	○	●							○	○								5	5	2	0	I	I	
都多小学校付近	43	7/9	○	○	○	●				●				○																			7	2	0	0	I	I	I
染河内小学校付近	44	7/11	●	○	○					●				○		○																	6	2	0	0	I	I	
新香橋	45	7/14	○	○		●	○			○				○	○	●								○									6	6	1	0	I	I	
龍野新大橋	46	7/15	○				○							●	○	●																	3	5	0	0	II	II	II
神河橋上流	47	7/16	●			●	○							○	○	○																	5	3	0	0	I	I	
三方繁盛浄水場付近	48	8/1		○		●	●	○		○				○	○	○																	7	3	0	0	I	I	
千鳥ヶ浜公園	49	8/2														●	●																0	4	0	0	II	II	II
芝田橋歩道橋	45	9/9	○	○		○	○			○				○	○	○	○								○	○							5	7	2	0	II	II	
鹿ヶ壺	50	9/11	●			○	○			●				○	○	○																	6	4	0	0	I	I	I
姫路バイパス付近	51	9/18	○	○		○					○	○	○	○	○	○	○						○	○	○	○		○	○				4	8	3	2	II	II	II
新幹線付近	50	9/19	○	○	○	○						○	○	○	○	○										○							4	8	3	1	II	II	II

確認種

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

「きれいな水」の指標生物であるカワゲラ類、ナガレシマトビケラ類、ヒラタカゲロウ類、ヘビトンボ、「ややきれいな水」の指標生物であるヒラタドロムシ類、コオニヤンマ、カワニナ類が比較的多くの地点で確認されている。

確認種数

揖保川全体では、「きれいな水」の指標生物9種類、「ややきれいな水」の指標生物7種類、「きたない水」の指標生物3種類、「とてもきたない水」の指標生物3種類の合計22種類が確認された。

揖保川

調査結果の経年変化

調査地点

これまでに **4 5 地点** で調査が実施されました。

鹿ヶ壺、新幹線付近、千鳥ヶ浜公園等で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、「**きれいな水**」または「**ややきれいな水**」となっています。

地点	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1 木坂橋	※1985、1986年に調査										
2 安積橋	※1988、1989年に調査										
3 西安積橋	※1985～1988年に調査										
4 間賀橋	I	I	I	I	I						
5 清姫橋	I	I	I	I	I	I	I	I			
6 山崎大橋	I	II	I	I	II	I	I	I			
7 香島橋	II	II	I	I	II						
8 新香橋	※1985、1986年に調査										
9 岩崎橋	I	II	II	I	II	II	I	II			
10 大屋橋	※1985～1988年に調査										
11 祇園橋	※1986年に調査										
12 龍野橋	I	I	I	II	II	II	II	I			
13 揖保上頭首工	※1986年に調査										
14 正条橋	※1984～1986年に調査										
15 不動橋	※1988年に調査										
16 中山橋	※1987年に調査										
17 下構橋	※1987年に調査										
18 中井橋	※1986年に調査										
19 誉鳩橋	※1986年に調査										
20 王子橋	II	II	II	II	II	II	II	II			
21 浜田井堰	※1985、1986年に調査										
22 真砂橋	II	II	II	II	II	II		II			
23 塩野河川敷	※2002年に調査										
24 神河橋(※1)	I										I
25 片吹頭首工	II	II									
26 龍野新大橋		II	II								II
27 鹿ヶ壺		I	I			I	I	I	I	I	I
28 中井橋		II									
29 山陽新幹線 林田川橋梁(※2)			II	II		II	II	II	II	II	II
30 岩見橋上				II							
31 阿曾井堰下流					II	II	II	II			
32 河東大橋					I						
33 千鳥ヶ浜(※3)					II	II	II	II	I	II	II
34 水辺の楽校(※4)						II			II	II	I
35 染河内川								I	I		
36 新宮リバーパーク								II			
37 林田川(姫路バイパス 付近)									II	II	II
38 都多小学校付近										I	I
39 大垣内橋上流										I	
40 染河内橋											I
41 相坂橋下流											I
42 染河内小学校付近											I
43 新香橋											I
44 三方繁盛浄水場付近											I
45 芝田橋歩道橋											II

I きれいな水

II ややきれいな水

III きたない水

IV とてもきたない水

由良川



由良川は、京都府の北部を流れる川で、流域の9割を山林が占めています。また、由良川に沿って広く連続する河畔林は、生き物の良好なすみかとなっています。



由良川

平成26年の調査結果

地点数：1地点

参加者数：7人

参加団体：

□ 綾部市立上林中学校



**1地点で調査が実施され、
結果は「きれいな水」でした。**

由良川

指標生物の確認状況

地点名	参加団体番号	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年 の判定	昨年 の判定
			I					II					III					IV				I	II	III	IV													
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19					20	21	22	23	24	25	26	27	28	29			
カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アマカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドROMシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロンコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	6	4	0	0	I	I	I				

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

確認種

「きれいな水」の指標生物であるヘビトンボ、「ややきれいな水」の指標生物であるカワニナ類が多く確認されました。

確認種数

「きれいな水」の指標生物5種類、「ややきれいな水」の指標生物3種類の合計8種類が確認されました。

由良川

調査結果の経年変化

調査地点

これまでに **43** 地点で調査が実施されました。

新土師橋、音無瀬橋、大手橋、有安橋で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、地点により「ややきれいな水」であるが、**多くの地点で「きれいな水」**が続いています。

地点	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1 丹波大橋	※1984～1987、1989～1996年に調査										
2 以久田橋	※1984～1989年に調査										
3 山下橋											
4 川北橋	※1995年に調査										
5 新橋	※1995～1996年に調査										
6 高畑橋	※1985～1987、1991～1996年に調査										
7 新土師橋(※1)								II	II	I	I
8 音無瀬橋	II	I	I	I	I	I	I	II	II	I	
9 新音無瀬橋	※1985～1987、1991～1996年に調査										
10 新庄橋	※1989年に調査										
11 筈巻橋	※1998年に調査										
12 波美橋	※1984～1992年、1994、1995年に調査										
13 大雲橋	※1993年に調査										
14 西飼橋	※1995年に調査										
15 六人部橋	※1998～2000年に調査										
16 畑川親水公園	※1997年に調査										
17 猪野々橋	※1999～2000年に調査										
18 芦生	※1998年に調査										
19 河瀬橋	※1998年に調査										
20 和知町細谷	※1999年に調査										
21 山家橋下流	※1999、2000年に調査										
22 仏谷橋	※1999、2000年に調査										
23 荷稻橋	※1999～2000年に調査										
24 弓削橋	※2000年に調査										
25 十倉橋	II	I	I	I							
26 相良橋	※2001、2003年に調査										
27 上端橋	※2002年に調査										
28 大手橋		I	I		II	II		I	I	I	I
29 南島橋	※2002年に調査										
30 車瀬橋	I										
31 朝根橋											
32 畑口川											
33 福知山市私市付近		II									
34 南丹市美山町 上平屋付近(※2)		I						I			
35 故屋岡町岩村付近			I	I	I						
36 綾部由良川水生園				I							
37 有安橋				I	I	I	I	I	I	I	
38 市場大橋						II					
39 新小貝橋							II				
40 新橋サングル公園							II				
41 猿田彦公園							II	II			
42 石原											I
43 縄手											II

I きれいな水

II ややきれいな水

III きたない水

IV とてもきたない水

円山川



円山川は、兵庫県の但馬地方を流れ、日本海に注いでいます。かつて、円山川沿いには、湿地が多くあり、様々な生き物のすみかになっていました。このような場所を取り戻すため、地域の人たちと一緒に湿地再生の取り組みを行っています。



円山川

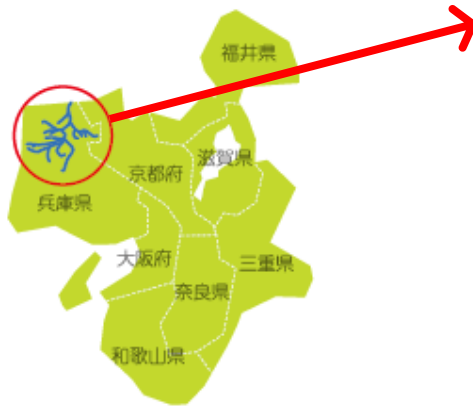
平成26年の調査結果

地点数：2地点

参加者数：65人

参加団体：

- 弘道小学校
- 府中小学校



2地点で調査が実施され、
すべて「ややきれいな水」でした。

円山川

指標生物の確認状況

地点名	参加団体番号	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定	
			I					II					III					IV				I	II	III	IV														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19					20	21	22	23	24	25	26	27	28	29				
府市場	36	9/4	○									○	●	○	●		○						○									3	7	1	0	II	II		
弘原	37	10/9	●									○	●		○	○																	2	5	0	1	II	II	I

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

確認種

「きれいな水」の指標生物であるカワゲラ類、「ややきれいな水」の指標生物であるオオシマトビケラ類、ヒラタドロムシ類、コオニヤンマが多く確認されました。

確認種数

円山川全体では、「きれいな水」の指標生物 3 種類、「ややきれいな水」の指標生物 6 種類、「きたない水」の指標生物 1 種類、「とてもきたない水」の指標生物 1 種類の合計 11 種類が確認されました。

円山川

調査結果の経年変化

調査地点

これまでに **42地点** で調査が実施されました。

府市場、引原で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、最近「**きれいな水**」が続いています。

地点	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1 赤崎橋	※1998～2000年に調査										
2 上ノ郷橋	※1984～1987年に調査										
3 引野	※1985～1990年に調査										
4 かせぎ橋	※1988年に調査										
5 堀川橋	※1998、2000年に調査										
6 鳥居橋	※1985～1990年に調査										
7 円山大橋	※1985年に調査										
8 堂ヶ瀬橋	※1998～2000年に調査										
9 寺内橋	※1984～1988、1998年に調査										
10 東河橋	※1999年に調査										
11 柳原橋	※1999年に調査										
12 中村橋	※1999年に調査										
13 寺前橋	※1999年に調査										
14 馬背場橋	※1999年に調査										
15 小城橋	※2000年に調査										
16 河本川合流点	※2002年に調査										
17 堂前橋	※2003年に調査										
18 日野橋	※2003年に調査										
19 中村橋	※2003年に調査										
20 広瀬橋	※2003年に調査										
21 蓼川大橋	※2003年に調査										
22 大久保	III										
23 丹戸	I										
24 葛畑	II										
25 三島商店前	I										
26 出合小前	I										
27 関神社下	I										
28 河川公園	II										
29 旧関宮小	I										
30 奥村	I										
31 大谷	II										
32 下八木の川原	II										
33 八鹿町椿色	I										
34 養父市役所前の河原	II										
35 山東町矢名瀬町 字川原町		II									
36 府市場			II	II	II		I	II	I		II
37 鍛冶屋			II								
38 佐田				I							
39 和田山町栄町					I						
40 出石町福住						I					
41 日高町稲葉						I					
42 弘原							I		I	I	II

I きれいな水

II ややきれいな水

III きたない水

IV とてもきたない水

北川



北川は、滋賀県と福井県の県境が水源で、福井県を通過して若狭湾に注いでいます。国が管理する近畿の川では、最も水がきれいな川の一つです（平成25年時点）。



北川

平成26年の調査結果

地点数：3地点

参加者数：17人

参加団体：

- 雲浜まちづくり委員会
- 一般参加



3地点で調査が実施され、
すべて「きれいな水」でした。

北川

指標生物の確認状況

地点名	参加団体番号	調査月日	指標生物の出現状況 (見つけた指標生物の欄に○印、うち数の多い ^(注) 2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定				
			I										II								III							IV				I	II	III	IV							
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29								点数計	点数計	点数計	点数計
三宅橋	4.5	7/23	●	○		○	○			○	●	○				○																				8	2	0	1	I	I	I
天徳寺橋	4.5	7/23	○	○		○	○			○	○	●				○				○		○														6	3	2	0	I	I	II
高塚橋	4.5	7/23	○	○						●	○	●																								5	2	0	0	I	I	I

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

確認種

「きれいな水」の指標生物であるカワゲラ類、ナガレトビケラ類、ナミウズムシ、「きれいな水」の指標生物であるコガタシマトビケラ類が比較的多くの地点で確認されました。

確認種数

北川全体では、「きれいな水」の指標生物7種類、「ややきれいな水」の指標生物3種類、「きたない水」の指標生物2種類、「とてもきたない水」の指標生物1種類の合計13種類が確認されました。

北川

調査結果の経年変化

地 点		2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1	新道	※1984年に調査										
2	天満橋・三宅橋	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
3	天徳寺橋	II	I	I	I	II	I	I	I	I	II	I
4	神谷橋	※1997年に調査										
5	高塚橋	I	II	I	I	II	II	II	I	I	I	I

I きれいな水 II ややきれいな水 III きたない水 IV とてもきたない水

調査地点

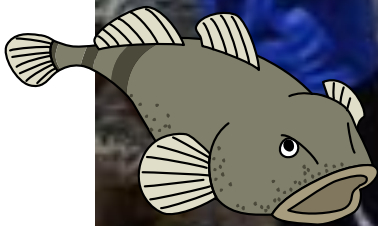
これまでに **5地点** で調査が実施されました。

天満橋・三宅橋、天徳寺橋、高塚橋で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、概ね「**きれいな水**」となっています。

九頭竜川



九頭竜川は、福井平野をって日本海に注いでいます。
良質な地下水が湧き出るところでは、
巣を作って卵を産む魚のイトヨがみられます。

九頭竜川

平成26年の調査結果

地点数：5地点

参加者数：84人

参加団体：

- 一般参加
- 松岡中学校
- 大野市和泉小中学校



5地点で調査が実施され、「きれいな水」が4地点、「きたない水」が1地点でした。

九頭竜川

指標生物の確認状況

地点名	参加団体番号	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定				
			I										II								III						IV					I	II	III	IV							
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29								点数計	点数計	点数計	点数計
和泉支所前	3	7/30	○		○	○	●											○	○			●													5	4	0	0	I	I	-	
前坂キャンプ場	3	7/30	○			●	●																													5	0	0	0	I	I	-
鳴鹿橋上流	1,2	8/5													●	○										○	○	○								1	3	5	3	III	III	III
福井大橋下流	1,2	8/5	○	●	○	●		○									○	○																		7	2	1	0	I	I	II
天池河川公園前	1	8/5	○	○		●	○											●		○	○															5	4	0	0	I	I	IV

I きれいな水 II ややきれいな水 III きたない水 IV とてもきたない水

確認種

「きれいな水」の指標生物であるカワゲラ類、ヒラタカゲロウ類、ヘビトンボ、「きれいな水」の指標生物であるコガタシマトビケラ類、コオニヤンマが比較的多くの地点で確認されました。

確認種数

九頭竜川全体では、「きれいな水」の指標生物6種類、「ややきれいな水」の指標生物5種類、「きたない水」の指標生物4種類、「とてもきたない水」の指標生物3種類の合計18種類が確認されました。

九頭竜川

調査結果の経年変化

地点	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1 鳴鹿堰下流	※1984～1992年に調査										
2 鳴鹿橋上流	I	I	I	I	II	I	II	I	I	III	III
3 福井大橋(※1)	I	I	I	I	I	I	I	I	I	II	II
4 中角橋(※2)	I	I		II	I	I	I	I	I	IV	I
5 江端川合流点											
6 朝宮橋	※1985～1990年、1992～1994年に調査										
7 布施田橋	※1985～1988年に調査										
8 和泉支所前											I
9 前坂キャンプ場											I

I きれいな水 II ややきれいな水 III きたない水 IV とてもきたない水

調査地点

これまでに**9地点**で調査が実施されました。

鳴鹿橋上流、福井大橋、中角橋（天池河川公園前）で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、概ね「きれいな水」となっていますが、この2年間は、「ややきれいな水」～「とてもきたない水」でした。これは、調査実施日に川の水が増水していた時には、**安全に配慮し緩流域で調査を実施したのが原因の一つ**と考えられます。

総合学習における活用

総合学習に求められる課題

総合的な学習の時間（総合学習）では、身の回りにおける様々な問題状況について、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決していくことが期待されています。

以上の趣旨に基づき、総合学習では次の5つの学習効果が求められています。

- 探求的な学習
- 協同的な学習
- 体験活動の重視
- 言語活動の充実
- 各教科等との関連



総合学習における活用

水生生物調査の総合学習における活用

■ 探求的な学習

課題の設定、情報の収集、
整理・分析、まとめ・表現

本調査では、「その川の水のきれいさを調べる」という明確な課題がに対して、どのような生き物がいるかという情報を収集し、整理・分析し、まとめ・表現することができます。

■ 協動的な学習

多様な情報を活用して協動的に学ぶ
異なる視点から考え協動的に学ぶ、など

本調査には、小中学校、地域住民、有識者や事務所職員など多くの人が参画しています。同じ課題に向けて、協動的に学ぶことができます。

■ 体験活動の重視

自然に関わる体験活動
ボランティア活動、など

本調査は、川に入って調査を行います。水の中の生き物だけでなく、川の環境(流れの速さや、川底の様子)などを体験的に学習することができます。また、30年間続いている調査であり、子どもたちの参加によって得られた結果は、水のきれいさを知るための情報として、将来にわたって活用され、社会的貢献の高い活動です。

■ 言語活動の充実

表現する
伝達する、など

本調査では、指導者への質問を行ったり、調査結果について発表したり、感想を述べたりすることで、表現し、伝達する能力を伸ばすことができます。

■ 各教科等との関連

理科、社会、国語など

本調査は、理科(生き物、流れる水のはたらき、など)、社会(水のきれいさ)、国語など、様々な教科に横断的に関連させることができます。